

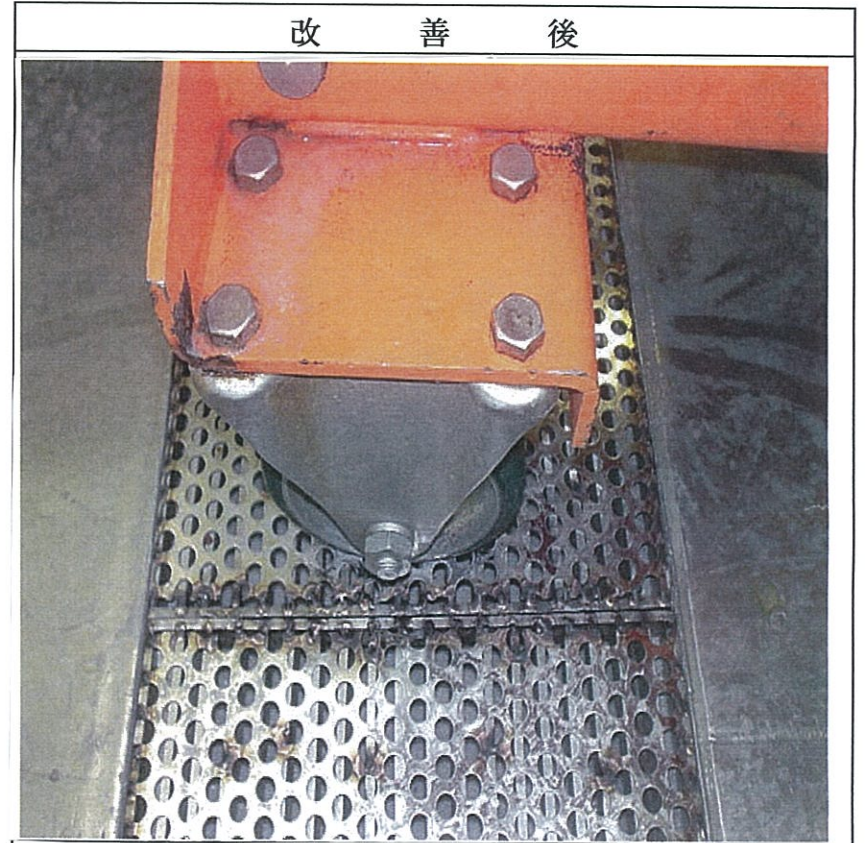
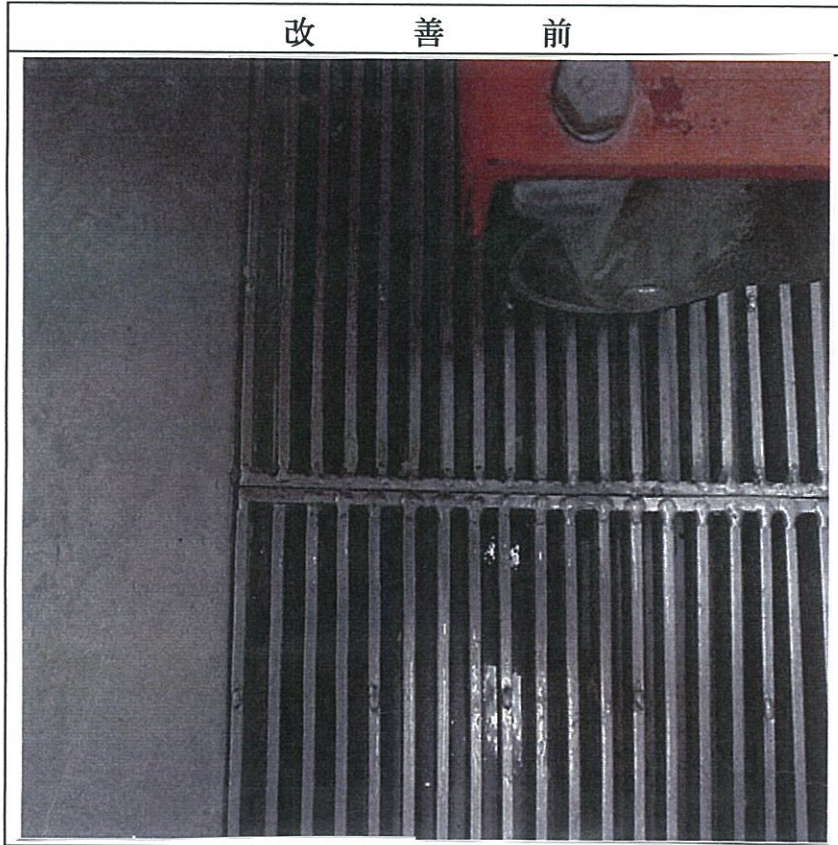
リスクアセスメント 改善事例用紙

京都工場 洋菓子課

グレーチング 選定対象理由【 ヒヤリハット 】

診断実施日 H26年 5月 23日

実施者 片桐、神田、若山、島、牧田、梅原、稲葉



【危険度診断評価点】

①	②	③	計	リスク
4	5	5	14	IV

①	②	③	計	リスク
1	1	1	3	I

① ケガの可能性	
・可能性が非常に高い	6点
・可能性が高い	4点
・可能性がある	3点
・可能性が低い	2点
・可能性がほとんどない	1点

② ケガの程度	
・死亡・永久的労働不能	10点
・障害の残るケガ	7点
・休業災害	5点
・不休業災害	3点
・微小災害	1点

③ 危険に近づく頻度	
・頻繁	5点
・時々	4点
・たまにある	3点
・ほとんどない	2点
・滅多にない	1点

測定値	リスクレベル
16～21	V
11～15	IV
6～10	III
4～5	II
3	I

【改善前の状況】

グレーチングの格子が真横を通っているので運搬物のキャスターが横滑りしたり、重量物が頻繁に通過するため、過重により溶接部分が脱落し、キャスターが引っかかり転倒する危険や、担当者も段差によってつま先を引っ掛け、作業中に転倒し怪我をする可能性が高かった。

【改善後の状況】

グレーチングの格子を小さくすることで、キャスターもグレーチングを渡りやすくなり、重量物によるグレーチングへの負荷も小さくなることから、溶接部分の脱落の防止にも役立った。

また、格子を小さくするために設置した鉄板は、パンチメタルを裏返しに取り付けたものであるが、これにより表面がギザギザとなり滑り止めの効果も認められた。